

平成26年度 第1回

社会教育委員の会議

○日 時 平成26年5月26日（月）

午後2時00分～

○会 場 中央生涯学習センター5階

人材かがやきセンター研修室

宇都宮市教育委員会

会 議 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 宇都宮市社会教育委員について

5 副委員長選出

6 議 事

(1) 報告事項

① 「社会総ぐるみによる人づくり」の合言葉について

【資料1】

② あかちゃんタイムの実施について

【資料2】

(2) 協議事項

① 「読書推進ガイドブック」について

【資料3】

② 各種協議会等への委員の選出について

【資料4】

(3) 意見交換

① 「社会の要請」の高まりへの今後の対応について

【資料5】

7 そ の 他

8 閉 会

宇都宮市社会教育委員名簿

任期：平成25年7月1日～平成27年6月30日

(※新任委員の任期：平成26年5月1日～平成27年6月30日)

区分	No.	氏名	役職名等	備考
学校教育 関係者	1	上野 修一 <small>うえの しゅういち</small>	栃木県高等学校長会宇都宮支部 (宇都宮南高等学校長)	新任
	2	宇賀神 貴 <small>うがじん たかし</small>	宇都宮市中学校長会 (田原中学校長)	
	3	刀川 啓一 <small>たちかわ けいち</small>	宇都宮市小学校長会 (豊郷南小学校長)	新任
	4	今井 政範 <small>いまい まさのり</small>	宇都宮地区幼稚園連合会会長 (さくらが丘幼稚園副園長)	
社会教育 関係者	5	福田 治久 <small>ふくだ はるひさ</small>	公益社団法人宇都宮青年会議所 直前理事長	
	6	榎渕 澄江 <small>くしづち すみえ</small>	宇都宮市地域婦人会連絡協議会会長	
	7	坂本 宏夫 <small>さかもと ひろお</small>	宇都宮市体育協会副会長	
	8	荻野 久一 <small>おぎの ひさかず</small>	宇都宮市文化協会理事	
	9	橋本 裕文 <small>はしもと ひろぶみ</small>	宇都宮市子ども会連合会会長	
	10	清島 康伸 <small>きよしま やすのぶ</small>	宇都宮市PTA連合会会長	
	11	吉田 治 <small>よしだ おさむ</small>	宇都宮市地域まちづくり推進協議会幹事	
	12	勝田 健一 <small>かつた けんいち</small>	宇都宮市青少年指導員会会長	
	13	伊藤 三千代 <small>いとう みちよ</small>	晃宝宮っ子ステーションコーディネーター	
家庭教育 関係者	14	小池 操子 <small>こいけ みさこ</small>	親学習プログラム指導者	
学識 経験者	15	廣瀬 隆人 <small>ひろせ たかひと</small>	宇都宮大学教授	
	16	河田 隆 <small>かわた たかし</small>	宇都宮共和大学教授	
	17	佐々木 一隆 <small>ささき かずたか</small>	宇都宮大学教授	
	18	山尾 貴則 <small>やまお たかのり</small>	作新学院大学教授	
	19	高橋 美幸 <small>たかはし みゆき</small>	市議会議員	新任
	20	小平 美智雄 <small>こだいら みちお</small>	市議会議員	新任

宇都宮市社会教育委員について

1 社会教育委員の職務

社会教育に関する諸計画を立案することや、教育委員会の諮問に応じ、社会教育に関し意見を述べるものです。

2 社会教育委員について

(1) 委員の構成

学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者等
20名の委員を委嘱

(2) 任期 2年（平成25年7月1日から平成27年6月30日まで）

※欠員を生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間

(3) 会議 年4回を予定（概ね5月、9月、12月、2月頃を予定）

3 社会教育委員の会議について

(1) 平成25年度の主な協議事項

- ・（仮称）宇都宮市読書活動推進計画について
- ・生涯学習課及び生涯学習センターにおける各種講座のあり方について
- ・「社会の要請」の高まりへの今後の対応について
- ・社会教育行政の基本方針と重点施策について
- ・文化行政の基本方針と重点施策について
- ・社会教育関係団体に対する補助について など

(2) これまでの調査研究事項

- ・昭和57年度(建議)「地域社会における青少年教育のあり方について」
- ・昭和59年度(答申)「多様化、高度化する社会に対応した公民館の機能と組織体制について」
- ・昭和63年度(答申)「成人の日の行事について」
- ・平成22年度(答申)「生涯学習推進に伴う公民館のあり方について」
- ・平成24年度(答申)「成人の日の行事のあり方について」
- ・平成12年度(意見書)「生涯学習社会における今後の公民館のあり方について」
- ・平成13年度(意見書)「(仮称) 宮っ子育成の日について」
- ・平成18年度(意見書)「家庭と地域の教育力向上に関する意見書」
- ・平成22年度(答申)「宇都宮市における今後の「成人教育」のあり方について」

関係法令集

【社会教育法】（抜粋）

（社会教育委員の設置）

第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

第16条 削除

（社会教育委員の職務）

第17条 社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、左の職務を行う。

1 社会教育に関する諸計画を立案すること。

2 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

3 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

（社会教育委員の委嘱の基準等）

第18条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他社会教育委員に関し必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

【社会教育委員及び公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令】（抜粋）

（社会教育委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準）

第1条 社会教育法（昭和24年法律第207号）第18条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から委嘱することとする。

【宇都宮市社会教育委員条例】（抜粋）

第1条 社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条の規定に基き、本市に社会教育委員を置く。

第2条 社会教育委員に関しては、法令に規定するものを除くほか、この条例の定めるところによる。

第3条 社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

第4条 社会教育委員の定数は、20人とする。

（昭30条例45・一部改正，昭50条例39・旧第4条繰上・一部改正）

第5条 社会教育委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合における補欠の社会教育委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 社会教育委員は、再任されることができる。

3 社会教育委員のうち、市議会議員又は関係機関若しくは関係団体の役職員の身分を有する者の任期は、第1項の規定にかかわらず、当該議員又は当該役職員の在職期間とする。

第6条 社会教育委員の互選により委員長及び副委員長を置くことができる。

社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」の策定について

1 策定の目的

社会総ぐるみによる人づくりに向けた機運醸成を図るため、自治会や子ども会などの活動主体へ呼びかけ、活動主体がさらに連携協力し、社会全体が一体となった人づくりの取組を促す「合言葉」を策定するもの

2 「合言葉」の基本的な考え方

「宮っこ未来ビジョン」に掲げる、人間力の高い心豊かでたくましい人づくりを推進するためには、大人が、子どもの育成について役割と責任を自覚するとともに、大人一人ひとりが子どもの手本となることが重要であり、また、家庭、地域、学校、企業など、社会総ぐるみで取り組まれることが大切であることから、以下の3つの要件をもとに策定した。

【合言葉の要件】

- ① 社会全体が一体となって人づくりに取り組むことを促す言葉
- ② 子どもを育むために、「大人」に対して訴えかける言葉
- ③ 市民の誰もが共有できるよう、分かりやすくメッセージ性がある言葉

3 策定経過等

(1) 策定経過

平成25年	8月	うつのみや人づくり推進委員会（合言葉の策定等）
	10月	作品の公募（10月1日～10月31日）
	12月	うつのみや人づくり推進委員会（最終候補作品の選定） 教育委員会（協議）
平成26年	1月	市民による投票（1月14日～2月15日）
	3月	うつのみや人づくり推進委員会（投票結果を踏まえた協議） 教育委員会（審議）

(2) 作品の公募結果

①募集期間

平成25年10月1日（火）～平成25年10月31日（木）

②最終候補作品の選定

応募総数235作品の中から、うつのみや人づくり推進委員会において、最終候補となる5作品を選定

【数：作品】

応募総数	年代					
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代以上
235	132	10	25	38	13	17
割合（％）	56.3	4.3	10.6	16.1	5.5	7.2

(3) 市民による投票結果

①投票期間

平成26年1月14日(火)～平成26年2月15日(土)

②投票数

2,016票

③最終候補得票状況

番号	合言葉最終候補	得票数 (割合)
1	大人を見つめて子どもは変わる	309 (15.3%)
2	子どもから大人まで 人間力向上宣言 宇都宮	265 (13.1%)
3	育もう 地域の愛で 子どもの未来	874 (43.4%)
4	宮っ子の手本 大人が魅せます 宇都宮	434 (21.5%)
5	大人が手本を見せます 宇都宮	134 (6.7%)

4 最終決定作品

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」

5 今後のスケジュール

平成26年4月～ 「合言葉」の周知【別紙 チラシ】

社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」

～大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます。～

社会全体が同じ目標、同じ気持ちで人づくりに取り組んで行けるよう、社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」を、平成26年3月に宇都宮市と宇都宮市教育委員会が策定しました。

市民の皆様には、この「合言葉」をもとに、これからも、各地域、各団体等で行われている人づくりの活動や取組に、ご理解とご協力をよろしくお願いします。



「育もう 地域の愛で 子どもの未来」

宇都宮市では、人間力の高い、心豊かでたくましく生きる人づくりを推進しています。私たち大人が、これまである身近な取組に参加、協力するとともに、家庭、地域、学校、企業、行政が一層連携・協力して、社会総ぐるみで子どもたちを育てていきましょう。



【身近な人づくりの取組例】

- 地域活動への参加
（清掃活動やお祭り、体育祭 等）
- 学校支援ボランティア活動への参加
（登下校時の見守り活動、読み聞かせ 等）
- 放課後子ども教室への参加
（宿題の補助、昔遊びの先生 等）など

～大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます～

◎大人は、子どもの育成について役割と責任を自覚し、一人ひとりが子どものお手本となることが大切です。

◎みんなで子どもたちを育てている意識を持つことが大切です。

お問い合わせ

宇都宮市教育委員会事務局 教育企画課 企画グループ

TEL：028-632-2706 FAX：028-639-7159 E-mail：u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp

あかちゃんタイムの実施について

◎ 趣 旨

「子連れでもゆっくり図書館を利用したい」という声があることから、乳幼児連れの図書館利用について、一般利用者の理解・協力を求める「あかちゃんタイム」の実施について報告するもの

1 目 的

乳幼児を連れてきた保護者が、気兼ねなく、ゆっくりと図書館を利用するために、全図書館で実施し、図書館の利用促進を図る。

2 日 時

図書館名	実施曜日	実施時間	同時開催する おはなし会の実施時間
中央図書館	5月5日及び 第2・4火曜日	午前10時30分 ～午後0時30分	午前11時～11時20分 (1, 2歳児とその保護者向け)
東図書館			午前11時20分～11時40分 (0歳児とその保護者向け)
南図書館			午前11時～11時20分 (1, 2歳児とその保護者向け)
			午前11時30分～11時50分 (0歳児とその保護者向け)
上河内図書館			午前11時～11時30分 (0～2歳児とその保護者)
河内図書館	5月5日及び 第2火曜日 (休館日にあたる場合は 第3火曜日)		午前11時～11時30分 (0～2歳児とその保護者)

3 実績

・平成26年5月5日(初回)

図書館名	0歳向けおはなし会	合計	1・2歳向けおはなし会	合計
中央図書館	乳児0名 幼児0名 大人0名	0名	乳児4名 幼児3名 大人8名	15名
東図書館	乳児3名 幼児0名 大人3名	6名	乳児8名 幼児0名 大人9名	17名
南図書館	乳児2名 幼児0名 大人4名	6名	乳児7名 幼児2名 大人6名	15名
	0・1・2歳向けおはなし会	合計		
上河内図書館	乳児0名 幼児0名 大人0名	0名		
河内図書館	乳児1名 幼児3名 大人4名	8名		

・平成26年5月13日(火)

図書館名	0歳向けおはなし会	合計	1・2歳向けおはなし会	合計
中央図書館	乳児6名 幼児0名 大人6名	12名	乳児3名 幼児0名 大人3名	6名
東図書館	乳児8名 幼児0名 大人8名	16名	乳児20名 幼児0名 大人20名	40名
南図書館	乳児8名 幼児2名 大人8名	18名	乳児18名 幼児0名 大人17名	35名
	0・1・2歳向けおはなし会	合計		
河内図書館	乳児6名 幼児0名 大人5名	11名		

乳児：0歳から2歳 幼児：3歳以上

読書推進ガイドブックについて

1 目的

読書に関心の少ない市民や、図書館を利用したことがない市民に、読書の楽しさに触れるきっかけを作り、市民の読書活動への関心を高めるとともに。身近に利用できる図書館やセンター図書室等を紹介することで、新規の図書館利用者を獲得し、図書館サービスを通して市民の読書活動を支援することなどにより、市民の読書活動のより一層の推進を図ることを目的とする。

2 概要

(1) ガイドブックの位置付け

「宇都宮市読書活動推進計画」（平成25年6月策定）の「基本施策1市民の読書活動の推進」における新規重点事業

(2) 作成にあたっての基本的な考え方

- ・ 市民に読書の楽しさを伝える。
- ・ 宇都宮市関連の視点を取り入れ、親しみやすさに配慮する。
- ・ 読書活動に直結する書店や図書館等を紹介し、図書館等の利用促進を図る。
- ・ ガイドブックの情報提供では、インターネットも活用する。
- ・ 読書時間及び読書量の少ない世代を対象とする。
- ・ 文字数をできるだけ抑え、写真などを多用し、手に取りやすいものとする。
- ・ 自主財源確保のため広告を募集する。

(3) 配布対象者

高校生以上～40歳代程度

(4) 形態

A5タイプ・カラー、20ページ前後（手に取りやすく気楽に持ち帰れる大きさ）

(5) 配布数

10,000部を予定

(6) 配布場所

市内の公共施設、駅、学校、銀行、郵便局、ショッピングセンター、道の駅、病院、レストラン、栃木子ども総合科学館、宮カフェなど

(7) 改定

- ・ 冊子については、3年に1度の予定
- ・ HP掲載情報は随時改定

(8) 掲載内容

- ・ 始めに、読書の楽しさを知ってもらうことを目的に、現代の作家の言葉や愉快市民からの読書についての文章を掲載
- ・ 特に、読書に関心のない人に向けて、宇都宮視点での図書館の紹介記事や手軽に読書活動ができることを伝えるため、駅や病院での待ち時間に読めるような図書館の紹介を記載
- ・ 子育てを通して読書活動に触れられるよう、子どもへの読み聞かせの仕方や図書

館のおはなし会などの記事を掲載

- ・ 読書への関心を高めるため、読書家が参加するビブリオバトルの記事を掲載、
- ・ 書店に気軽に行ってもらえるよう、市内の書店の魅力を紹介
- ・ 新規の図書館利用者の獲得を目指し、センター図書室等を記載し、近いところで図書館資料を利用できることをPRするとともに、役立つ図書館サービス（レファレンス、宇都宮関連資料）について記載
- ・ 配布対象が比較的若い世代であることから、図書館や書店等のQRコード一覧を掲載予定

(9) 広告の公募

- ・ スポンサーを募集し、スポンサーの広告の掲載、記事面への掲載を行う。
- ・ ガイドブックの内容は全ページを図書館ホームページにアップし、そこからスポンサーのホームページにリンクするような対応をとる。

※広告料 A5：10,800円、A6：5,400円

(10) 編集

- ・ 各館から選出した職員によるプロジェクトチーム（5～6名）を中心に行う。
- ・ 図書館の参考人や書店員、関係団体等の意見を聴取する。

3 参考人等からの意見及び対応等

(1) 平成25年度 第2回 図書館事業に係る意見交換会

- ・ 日 時 平成26年3月25日(火)午後3時30分～午後5時10分
- ・ 場 所 宇都宮市立中央図書館 集会室
- ・ 出席者 10名中8名出席

(関係機関3名、学識経験者1名、関係団体3名、利用者代表1名)

(2) 意見及び対応

- ・ 「カクテルで味わうストーリー」の部分や目次にカクテルの写真があり、高校生以上に配布ということだが、アルコールに対して寛容な冊子に思える。また、色の認識が難しい方への配慮も必要である。
⇒ カクテルは餃子に変更した。目次部分の写真は差し替えた。
- ・ 栃木県大学図書館一覧の掲載内容の点検
⇒ 大学等のホームページや大学図書館等へ確認した。
- ・ 大きさはA4よりA5の方が女性や子どものバックに入るので良いと思う。A5横の方が平置きだと逆に目立つと思う。
- ・ 表題についてはインパクトがあるものが良い。
- ・ 「意外と図書館は近くにある」では、どこでも返せるというアピールが利用促進につながり、良いと思う。ここにイラスト的で簡易な「図書館マップ」を入れて欲しい。
⇒ 「図書館マップ」はスペース的に難しいので、各地区市民センター等のアクセス方法（バス等のルート及び最寄のバス停等の紹介）を記載した。
- ・ 本を読みなれていない人を対象とするならば、この程度の字数で適度と思われる。
⇒ 本に関心のない人に手に取ってもらうことを目指して作成する。

4 スケジュール

平成25年11月	作成内容の検討開始
	第1回 図書館事業に係る意見交換会
平成26年 2月～	作成内容の決定
	原稿の作成開始
	関係機関との調整
3月	第2回 図書館事業に係る意見交換会
5月	社会教育委員の会議（協議）
8月	広告募集開始
9月	広告主決定
	社会教育委員の会議（報告）
10月	配布

宇都宮市読書推進ガイドブック

(仮)いつでもどこでも本はある

読書はあなたの未来を愉快にする

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

★広告のイメージ

本のご用命は、
紀伊國屋書店宇都宮店（パルコ8F）へ
お待ちしております

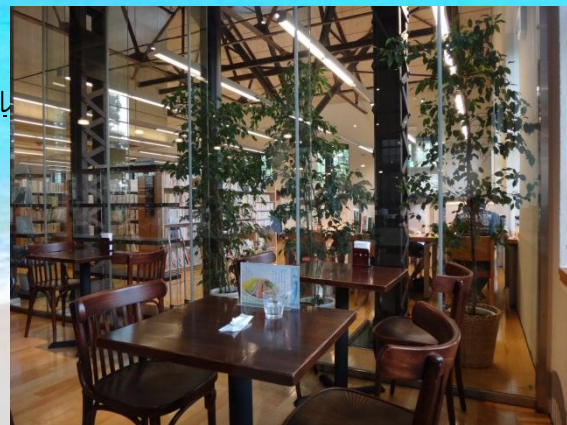


市役所にお越しの際は、
ぜひ、地下1階「鶴畑書店」を
ご利用ください。



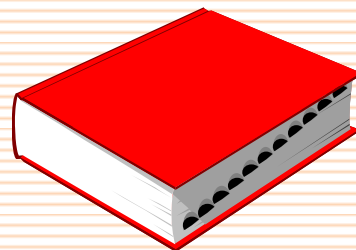
目次

- 1 読書の楽しさ
- 2 宮っ子が語る。読書
- 3 宇都宮がステージ
- 4 餃子いろいろ
- 5 待ち時間のものがたり
- 8 子どもたちと一緒に
- 11 本好きのための書評合戦ビブリオバトル
- 13 魅惑的！ブックストア
- 14 意外と図書館は近くにある
- 17 図書館にはこんな本がある
- 18 便利です！レファレンスサービス
- 19 市内の図書館のご案内
- 22 栃木県内大学等図書館一覧
- 23 外国人の方への読書案内
- 24 QRコード一覧



いつでもどこでも本はある

読書の楽しさ



現代の作家の言葉から考えてみましょう。

石田衣良さん：「僕は、書く方にプロがあるように、読む側にもプロがいると思っています。」

江國香織さん：「本は逃避ですから。本がないと人生、生きていられないみたいな感じですよ。」

北方謙三さん：「本があるとないでは人生の豊かさが随分違ってくる。人生はたかだか 70, 80 年です。でも、本の中には無限の広がりがある。」

重松清さん：「本との出会いは、何も名作である必要はありません。不意打ちのように、たまたま目にした言葉や手に取った一冊の本に救われることは絶対にあると信じています。」

辻仁成さん：「読むことの楽しみは何かを見つけることだと思います。自分の好きな作家、好きな思想、好きな考え方に会うために読む。」

宮っ子が語る，読書

比較的最近宇都宮愉快市民になった若い活躍中の方で，広報広聴課
都市ブランドグループに相談中

宇都宮がステージ（宇都宮が出てくる小説の紹介）

ふるさとを舞台に展開されるものがたりをどうぞ

『遠雷』立松和平・著 河出書房新社

雑木林・田んぼや川・・・ずっとあるものと思っていた風景が、工業団地に変わり都市化して行く。それに抗うように主人公満夫はトマトを作るが……。野間文芸新人賞受賞作。



『火車』宮部みゆき・著 双葉社

主人公本間俊介、刑事だが休職中。ある日、遠縁の男性が訪ねて来て、失踪した婚約者の行方を捜してほしいと依頼する。婚約者について調べていくうちに、不可解なことや婚約者の出身地が宇都宮であることも判明して…。小説とは思えないリアルな怖さがせまる！山本周五郎賞受賞作。



『祖母、わたしの明治』志賀かう子・著 北上書房

小さい頃に母親を亡くし、東京で暮らしていた兄妹は、宇都宮で開業医をしていた祖母に育てられる。

餃子いろいろ

宇都宮市民の大好物「餃子」にまつわる様々な本や音楽に触れてみませんか



『秘訣は官民一体ひと皿 200 円の町おこし 宇都宮餃子はなぜ日本一になったか』五十嵐幸子／著



『宇都宮餃子公式ガイドブック』宇都宮餃子会／編



『餃子ダイエット』
渡久地聡美／著



CD「餃子ブルース」
ジャムズビー／演奏

忙しい日常の中の束の間の休息、コーヒーの香りを楽しみながらページを繰ってみよう

『宇都宮本 宇都宮が大好きなもので。』 椎出版社編・発行

大人のための宇都宮ガイド。この一冊で宇都宮通になれること間違いなし。
デートのお供にどうぞ！！

『おいしいコーヒーのいれかた I～●』 村山由佳・著, 集英社

父の転勤のため、いとこ姉弟と同居することになった高校生の勝利。美しく変貌した5歳年上のかれんへの思いは届くのか。ピュアで真摯な純愛小説。

『デジタルデトックスのすすめ』 米田智彦・著, PHP出版社

スマホやタブレットなどインターネットにつながっている環境は当たり前のことになりました。

本書は「デトックス＝解毒」の言葉が示すとおり、デジタル環境の持つ負の側面から「少し離れる習慣」を取り入れようというものです。五感をとりもどし、自分らしい生き方をおくるためのヒントが満載です。





待ち時間のものがたり

駅舎編

『アコさんの今日もごちそう日和』

伊能勢敦子・著，産業編集センター

宇都宮市在住の料理家，エッセイストの一冊。著者の幼少期から現在までのエピソードの中には懐かしい宇都宮の姿も。丁寧な暮らしぶりにあこがれます。

これから旅立つあなたに，また，通勤のお供に
お手軽サイズの文庫本をお手元から



『阪急電車』 有川浩・著，幻冬舎

片道 15 分の電車内で繰り広げられる様々な人間ドラマ。乗り合わせた乗客の人生が少しずつ交錯し物語りを紡いでいく。人生がいとおしく感じられる一冊。

『旅する木』 星野道夫・著 文藝春秋

アラスカに魅せられた写真家のエッセイ。
優しい語り口で綴られる星野さんの魅力が詰まった本。

待ち時間のものがたり

病院待合室編

緊張と忍耐の時間だからこそ、リラックスしてみませんか。

『あなたが大好き』 鈴木まもる・著，ポプラ社・出版
心から伝えたい大好きな気持ち。やさしい絵と温かい言葉に心がほっこりします。

『月光浴』 石川健治・写真，小学館・出版
満月の光だけで撮影され、凜とした静けさの中からも躍動感が感じられる一冊です。

『富士山のふしぎ100』 尾形正隆・写真，偕成社・出版
2013年6月にユネスコの世界文化遺産に登録された富士山に関する100の疑問に、わかりやすく写真を使って答えている本です。



『世界の変なトイレ』 モーナ・E，グレゴリー・著
エクスナレッジ・出版
誰もが絶対に使うトイレ。世界旅行に行った気分になって世界中の変なトイレを感じましょう。



子どもたちと一緒に 楽しい子どもへの読み聞かせ



～自宅で、地域で、子どもたちとふれあいの時間を～

子ども達にとって大好きな人に本を読んでもらうことは、心身の成長にも大切なこと。
読み聞かせの時間は宝物です。本を通して心を通わすひとときをすごしませんか？

♡ポイント

- 1 なるべく毎日よむ（少しの時間でも大丈夫です）
- 2 子どもが安心できる心地好い居場所を作る
- 3 ゆっくり読む（早口に気をつけて）
- 4 絵本はもちろん、物語の場合はイラストもよく見せる
- 5 読み終わってから、感想を聞かない（心の中の余韻を大切に）

♡♡♡いちばん大切なこと ⇒ 子どもと一緒に楽しむこと



絵本を選ぶときから読み聞かせは始まっています。
読み聞かせで困ったり迷ったりしたときは、図書館の
おはなし会や、地域の家庭文庫などを訪ねてみてください。
豊富な経験から、楽しい時間のお手伝いをいたします。
読んでみようかな。と思ったときが始め時ですよ。

「おはなし会」やってるよ～

図書館では、読み聞かせボランティアの協力を得て、年齢別のおはなし会を開催しています。近くの図書館に遊びに来てね！

名称	実施館	曜日	時間など
 あかちゃんの おはなし会 (0.1.2 歳児と保護者)	中央図書館 東図書館	第 2,4 火曜日	11:00～11:20(1・2 歳児向き) 11:20～11:40(0 歳児向き)
	南図書館	第 2,4 火曜日	11:00～11:20(1・2 歳児向き) 11:30～11:50(0 歳児向き)
	上河内図書館	第 3 金曜日	11:00～11:30(0・1・2 歳児向き)
	河内図書館	第 2 火曜日 ※第 3 火曜日に変更のときもあり	11:00～11:20(0～2 歳児向き)
 おはなし会 (小さい子向き)	中央図書館 東図書館	毎週土曜日	11:00～11:30
	南図書館	毎週日曜日	14:30～15:00 ※第 2 日曜日は手話つきのおはなし会
	上河内図書館	第 2 日曜日 第 4 土曜日	10:30～11:30 11:00～11:30
	河内図書館	毎週土曜日 ※第 1 土曜日は小学生向け	14:30～15:00
パパと楽しむおはなし会	東図書館	第 3 日曜日	14:00～15:00
英語のおはなし会	東図書館	奇数月第 3 日曜日 ※お休みの場合もあり	11:00～11:30



～子どもといっしょに図書館へ～

あかちゃんタイム



10

保護者の方が、小さいお子さまといっしょに、図書館をゆっくり楽しめる時間を作りました。
0・1・2歳児向けのおはなし会の日の、10時30分から12時30分までです。

館内が少しにぎやかになる
こともあります。
保護者の方も、一般の方も、
お互いに思いやりをもって
過ごせる時間になると
いいですね。





感動した本、おもしろかった本など自分が紹介したい本を、みんなの前でプレゼンテーションする「ビブリオバトル」。誰でも参加でき、ルールも簡単のため、全国の家や学校、イベント会場などで開かれ、静かなゲームになっています。

本を通して人とコミュニケーションするゲームに、あなたも参加してみませんか。

11

●「ビブリオバトル」って何？

「ビブリオ」は書物などを意味するラテン語由来の言葉で、「ビブリオバトル」とは、ゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの書評合戦です。

●ビブリオバトルのルール

1人5分の持ち時間で発表者が順番におすすめの本を紹介（書評）し、その後、それぞれの本について2～3分ほど質問を受けます。すべての発表と質疑が終わった後、発表者と観客が一番読みたくなった本「チャンプ本」（次ページに紹介あり）を多数決で決定します。

（参考：ビブリオバトル公式ウェブサイト <http://www.bibliobattle.jp/>）

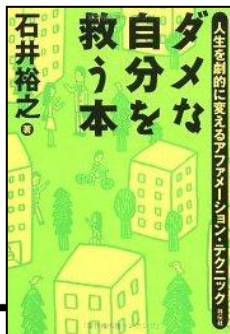
これまでのビブリオバトルチャンプ本から

南図書館やフェスタ in 大谷のビブリオバトルで選ばれた本をいくつか紹介します。

『大正時代の身の上相談』

カタログハウス 1994

大正時代に実際に新聞に載った身の上相談。昔の人はこんなことを悩んでいた。



『ダメな自分を救う本』

石井裕之著 祥伝社 2006

自分に自身が持てない、心を強くしたいなど、思っている方はぜひ読んでみてください。

『大谷地下軍需工場の青春』

平野彧著 随想舎 1995

大谷採掘跡は、太平洋戦争時代に飛行機の工場だった。著者の体験に基づく知られざる宇都宮の歴史。



◆図書館のビブリオバトル参加方法◆

◇発表者は申込みが必要です。広報紙やホームページで事前に募集します。観客は自由参加です。多くの方の参加をお待ちしています。